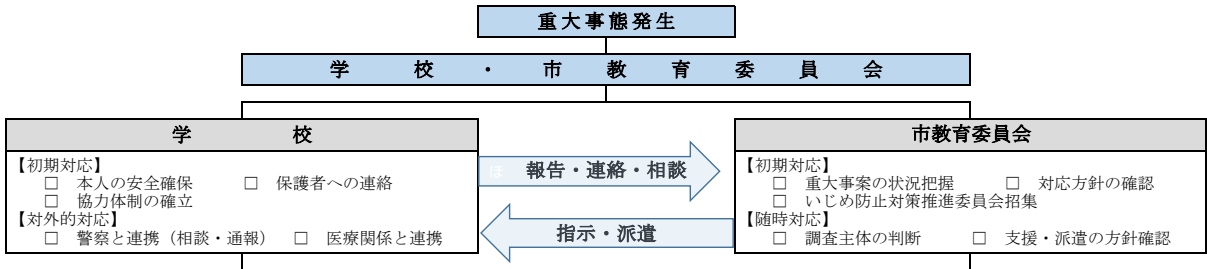


重大事態発生時の対応の流れ

[資料 3]

重大事態の意味		
(1) 「生命、心身又は財産に重大な被害が生じた疑い」がある場合	◇ 児童生徒が自殺を企図した場合	◇ 身体に重大な障害を負った場合
◇ 精神性の疾患を発症した場合	◇ 安全が脅かされる場合	◇ 金品等に重大な被害を被った場合
(2) 「相当の期間学校を欠席することを余儀なくされている疑い」がある場合	◇ 年間30日の欠席を目安とする	◇ 一定期間連続して欠席している場合
※ 迅速に調査に着手する必要性のある場合		



① 調査組織の設置	
学校または市教育委員会の下に重大事態の調査組織を設置する。	
学校の下に、「いじめ対策委員会調査組織」を設置する。	市教育委員会の下に、「 朝来市いじめ問題対応委員会 」を設置する。
<input type="checkbox"/> 調査の中立性・公平性を確保した組織を設置する。 <input checked="" type="checkbox"/> 専門的知識及び経験を有し、いじめの関係者と直接人間関係又は特別の利害関係を有しない第三者で調査組織を組織する。 <input checked="" type="checkbox"/> 把握している情報の集約・整理をして、共有化を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> 今できる、今やらねばならない対応や役割分担について確認する。	

迅速に！

② 調査の実施	
学校が調査主体の場合	市教育委員会が調査主体の場合
<input type="checkbox"/> 事実関係を明確にするための調査を実施する。 <input checked="" type="checkbox"/> いじめ行為の事実関係を可能な限り網羅的に明確にする。 <input checked="" type="checkbox"/> 調査において不都合なことがあっても、事実と真摯に向き合う姿勢で取り組む。 <input type="checkbox"/> 事実確認で明確になった事実を正確に記録に残す。 <input checked="" type="checkbox"/> 調査対象…本人、加害者、周囲の者、保護者 <input checked="" type="checkbox"/> 調査内容…「いつ、どこで、誰が、誰と、何を、どのように」を調査する。 ※5W1H <input checked="" type="checkbox"/> 状況把握…「直接見た・聞いた」、「人が見た・聞いた」を明確にする。	

☆随時、いじめ対策委員会の開催

迅速に！

☆学校・市教育委員会の連携

③ 情報の提供	
<input type="checkbox"/> いじめを受けた児童・生徒及び保護者への適切な情報提供を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 明らかになった事実関係について、適切に情報提供を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 関係者の個人情報には十分注意する。ただし、個人情報保護を盾に説明を怠らない。 <input checked="" type="checkbox"/> アンケート結果を、いじめを受けた児童・生徒に提供することがある。（調査に先立ち、その旨を調査対象の児童・生徒及び保護者に説明する等の措置を取ること。）	
<input type="checkbox"/> いじめを受けた側への対応及び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 情報を正確に伝え共通理解を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> いじめ対策委員会で話し合われたこと <input checked="" type="checkbox"/> 調査組織で把握できた情報 <input checked="" type="checkbox"/> 今後の対応について理解を得る。 <input checked="" type="checkbox"/> 加害児童生徒への指導と今後の対応 <input checked="" type="checkbox"/> 重大事態再発防止のための手段 <input checked="" type="checkbox"/> 謝罪について、慎重を期す。	<input type="checkbox"/> いじめた側への対応及び支援 <input checked="" type="checkbox"/> 情報を正確に伝え共通理解を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> いじめ対策委員会で話し合われたこと <input checked="" type="checkbox"/> 調査組織で把握できた情報 <input checked="" type="checkbox"/> 謝罪の必要性の説明（必要に応じて） <input checked="" type="checkbox"/> 再発防止にむけた共通理解を図る。 <input checked="" type="checkbox"/> いじめは絶対いけないことの徹底 <input checked="" type="checkbox"/> カウンセリングの実施（状況に応じて）

迅速に！

④ 調査結果の報告	
学校主体の調査の場合	市教育委員会主体の調査の場合
<input checked="" type="checkbox"/> 調査結果を市教育委員会に報告する。 <input checked="" type="checkbox"/> 希望すればいじめを受けた児童生徒及び保護者の所見を添付する	<input checked="" type="checkbox"/> 調査結果を市長に報告する。 <input checked="" type="checkbox"/> 希望すればいじめを受けた児童生徒及び保護者の所見を添付する

迅速に！

⑤ 調査後の必要な措置	
学校主体の調査の場合	市教育委員会主体の調査の場合
<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、外部専門家の派遣等を市教育委員会へ要請する。	<input checked="" type="checkbox"/> 専門家を派遣し重点的支援を行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 人的な追加配置を行い、体制の強化を図る。

再調査の判断

不必要

必要

市長の指示の下、資料の提出等、調査への協力をする

- ・ 調査で把握した事実関係等の情報
- ・ アンケート結果等の情報
- ・ いじめを受けた児童生徒及び保護者の所見等
- ・ 重大事態への対処及び再発防止の方策
- ・ 調査の公平性、中立性にある外部専門家の参画

再発防止・未然防止の
継続的な推進・実践